








国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
県	重要文化財(建造物)	千葉家書院 書院、廊下及び浴室、浴室、本門及び築地塙、土蔵	ちばけしよいん	5棟	安芸郡海田町中店	平3.4.22	書院/入母屋造、棧瓦葺 廊下及び浴室/切妻造、棧瓦葺 浴室/片入母屋造、棧瓦葺 本門/切妻造、棧瓦葺 築地塙/本門両側17.70m 土蔵/二階建、切妻造、本瓦造		江戸時代中期の安永3年(1774)に建築されたもので、面皮柱を用い、床脇に書院を組み合わせたなど、数寄屋造りに基づいている。また欄間・障子等に意匠を凝らしており、保存状態もきわめてよい。旧山陽道沿いに民家の中で書院の建物がはっきりした形で残っているものは少なく、貴重である。千葉家(神保屋)は、旧山陽道に面したところにある。江戸時代には「宿送役」として幕府や藩の書状や荷物の運送業務に従事し、また幕府役人等も宿泊していた。		
県	名勝	千葉家庭園	ちばけいていえん		安芸郡海田町中店	平3.4.22			千葉家住宅は旧山陽道海田宿にあり、旧山陽道に面した北部に主屋と書院の建物が建っている。千葉家庭園は、江戸時代初期(17世紀)に海田に尾を構えた千葉家書院に付属した庭園として江戸時代(1603~1867)の早い時期に営まれた。その後、安永3年(1774)の書院建て替えにもなつて改造されたが、築山や滝口などの古い部分は残されている。安永改造の部分は丁石(ていせき)に車石を使うなど、時代的な特徴が見られるが、手水鉢(ちよすずは)を兼ねた大きな立石を配するなど、意匠的に見て優れた内容を有している。		
県	天然記念物	海田観音免のクスノキ	かいたかんのいんめんのくすのき		安芸郡海田町東海田字観音免	昭50.4.8			本樹は樹高約29m、胸高幹囲6.4mで、主幹は、地上1.55mで東西の二大支幹に分かれ、地上7mのところで分枝が始まって、よく繁茂した大きな樹冠を形成し、一見、森のように見える。枝を切った跡が散在するが、樹勢は極めて旺盛である。本樹は、県天然記念物、新庄の宮の社叢(広島市)のクスノキに匹敵する県内有数の巨樹である。		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅主屋	みやけけしよたくしゅおく	1棟	安芸郡海田町福荷町	平29.5.2	木造2階建、瓦葺	建築面積125㎡	旧山陽道に北面する商家。妻入のツジ2階建、棧瓦葺。東側に通り土間を通し、表側から、ミセ、ゲンカン、ナカマ、ザシキの1列4室を並べる。正面に奥行1間の大きな下屋庇を設け、ツジ2階の正面は塗籠の軸組を見せ、街道沿いの歴史的景観を今に伝えている。江戸時代後期/明治中期改修		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅衣裳蔵	みやけけしよたくしゅうくら	1基	安芸郡海田町福荷町	平29.5.2	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積63㎡	南北に細長い敷地の、中ほど裏寄りに建つ、桁行5間、梁間3間、2階建土蔵で、屋根は棧瓦葺。内部は1、2階とも1室とし、西側正面には全長に渡って1間幅の庇をかけ、南端部のみ囲って道具入れとする。近世商家の屋敷構えを構成する建物である。江戸時代後期		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅新蔵	みやけけしよたくしんくら	1棟	安芸郡海田町福荷町	平29.5.2	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積21㎡	敷地中ほどの西寄りに建ち、衣裳蔵と対面する。桁行3間、梁間2間、2階建て、屋根は棧瓦葺。正面中央やや北寄りの扉口を設け、1、2階とも正面のみに半間幅、鉄格子の内側に内開きの塗籠戸とする意匠明治後期		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅古米蔵	みやけけしよたくふるこめくら	1棟	安芸郡海田町福荷町	平29.5.2	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積43㎡	敷地中央西側、新蔵の南に建つ。桁行5間、梁間3間、2階建て、1階中央に扉口を開き、その両側に窓を設け、2階には窓4箇所を開く。1階開口部には板庇を設ける。敷地内では最も規模が大きい土蔵で、白壁に窓を開く外観が、敷地景観を形づけている。江戸時代後期		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅新米蔵	みやけけしよたくしんこめくら	1棟	安芸郡海田町福荷町	平29.5.2	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積29㎡	敷地中央東側、衣裳蔵の南に建ち、古米蔵と対面する。桁行3間、梁間2間と小規模な2階建て、1、2階とも1室とし、南妻面に窓2箇所を開く。正面側には全長に渡って庇を設けている。敷地南端の裏長屋門近くにあつて、小作米を貯蔵していた土蔵である。明治時代後期		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅裏長屋門	みやけけしよたくらながやもん	1棟	安芸郡海田町福荷町	平29.5.2	木造平屋造、瓦葺	建築面積53㎡	敷地南端を圍す長屋門。元は瀬野川旧流路の河岸に面していた。桁行8間半、梁間1間半の東西棟の中央やや西寄りに門口を開き、その西は桁行3間、梁間2間の規模で北に延ばして厩舎とする。水陸の中継路で栄えた海田町の歴史を今に伝える建物である。江戸時代後期	